

第10期行動指針

確実な成果が、私たちの商品です

1. 安全考動の実践（謙虚に、誠実に、愚直に）

○ 仲間を守り、そして自らを守るために

- 1) 「作業・列車」を止める 「止める意思固め」はできていますか？
⇒ 止める「覚悟」と止める「準備」を
- 2) 「確認ですが」 責任者、作業員としてわからないことはありませんか？
⇒ 工程、手法、作業環境は大丈夫ですか？
- 3) 「セルフ停電」 本当に触って大丈夫ですか？
⇒ 自らを守るための最後の行動です！
- 4) 作業グループのレベルアップ 「号令」を掛け、「号令」に従っていますか？
⇒ 馴れ合いが招く事故防止のために

2. 施工品質の確保と向上

○ 丁寧な計画と確実な施工

- 1) 現地現物確認の W チェック
現地で現物を確認しましょう（図面は、参考にしても信用はしないように）
- 2) 綿密な施工計画とルールの順守
3H（初めて、変更、久しぶり）作業ではないですか、対策は、大丈夫ですか

3. 人材確保と資格取得

○ 3年後 5年後を見据えて

- 1) 人材の確保
JR 再雇用退職者、新規採用者の確保
- 2) 重要資格（特に建業法・電気工事業法）の取得
ネスコ学園、一般講習等の活用
電気通信工事施工管理技士、電気工事施工管理技士、
電気工事士、消防設備士等

4. 経営基盤の強化（コロナ終息を見据えて）

○ 完成工事高の増と原価管理意識の向上

- 1) オンレール部門（検電接地・列車見張・変電関係作業等）作業への従事拡大
- 2) オフレール部門への更なる営業活動
- 3) 部門別原価管理の実施
・丸直を意識した原価管理の実施

福岡電気システム(株)